



願いを込めて、ひまわりの種をまく、
子どもたちと地域のみなさん



種をまいた畑を見学後、色紙にのびのびとした
ひまわりの絵を描く子どもたち



富山湾を望むように咲く、ひまわりを鑑賞した
子どもたちと地域のみなさん



地域の拠点「前沢公民館」に集う、有志のみなさんで
「黒部踊り街流し」に参加

表紙写真

笑顔が笑顔を呼ぶコミュニティ 黒部市立前沢公民館

前沢地区は、棚田が広がる山あいの地区で、種籾の産地として全国的にも有名です。

前沢地区には、広大な休耕田を活用したひまわり畑があります。お盆に見頃を迎え、富山湾を望むように咲くひまわりは、まさに絶景です。

公民館では、前沢地区の魅力を再発見していただくため、ひまわりの種まきから開花までの成長を楽しむ体験活動を実施しました。

咲いたひまわりは、公民館のほか、保育所や介護施設などに飾り、“笑顔が笑顔を呼ぶ”コミュニティの創出を目指します。

〈本号の主な内容〉

- 2面 ● 先進事例を学ぶ研修会
 - ・講演概要
 - ・実践発表概要
- 3面 ● 主事・指導員等研修会
 - ・能登地区フォーラム概要
 - ・防災力アップ講座概要
- 4面 ● わが町の公民館活動
 - ・高岡市立川原公民館
 - ・富山市立大沢野公民館
- 5面 ● わが町の公民館活動
 - ・立山町立千垣公民館
 - ・南砺市利賀地域づくり協議会
- 6面 ● 令和7年度事業予定案

令和6年度 先進事例を学ぶ研修会

～和田公民館の先進事例から～

12月12日(木)、先進事例を学ぶ研修会は、公民館 de つながるモデル事業実施館の関係者等70名が参加して県教育文化会館で開催された。

開会に当たり、来賓として出席いただいた県教育委員会生涯学習・文化財室 課長 河原千里氏から、「社会が大きく変化しています。今回のように、公民館の役割や多様な連携のあり方等について、県内や全国の先進事例をもとに学びを深めることは、公民館の皆様、市町村のご担当、そして私たち県担当者それぞれにとって貴重な機会であり、これからの時代の新しい地域づくりの取り組みの指針となるものと、確信しています。」との激励の言葉があった。

福井市和田公民館 主事 細川賢治氏による「和田公民館のインターネット活用の実例とSNS広報で広がる公民館の活動」の講演を聴いた。その後、和田公民館の実践から学んだことについてグループワークを行い、研修を深めた。



講演する細川氏

【講演要旨】

- 1 福井市和田地区の現状
 - ・所管エリア 約11,500人
 - ・高齢者の利用が多い
 - ・情報共有に課題を抱えている
 - ・積極的な広報として

HPの頻繁な更新をする

- SNS等のインターネットの活用
- 2 インターネット活用の実例
 - ・公式 LINE
 - ・HP (ホームページ)
 - ・ビジネス Instagram と Facebook
 - ・YouTube チャンネル
- 3 課題と改善点
 - ・SNS 利用の技術向上
 - ・目に留まる提供の工夫
- 4 地域住民同士の学び合いを促進するための取り組み
 - ・初心者向けスマホ教室
 - ・最新技術の学び
 - ・インターネット活用講座

【グループワークより】

- ・参加者の大半は高齢者であり、地域の広い世代をどう参加に導くかは、どの地区でも共通の課題である。
- ・講演やグループでの話合いの中で具体的なSNS活用について取組みを聞くことができ、自分も取り入れてみたくなった。
- ・幅広い年齢層に同じ方法での情報共有は効果が薄いと感じた。より活発な公民館活動を目指し、広報紙やInstagram等、世代に合わせた情報共有をしていくことが大事である。

※富山県公民館連合会のホームページで、講演・発表の動画を配信していますのでご覧ください。



～「公民館 de つながるモデル事業」実践発表より～

黒部市立浦山公民館 主事 岡田千春氏による「浦山にデジタルの風を吹かせてみた」の発表

○スキルアップ講座で学んだこと

福岡公民館の取組みに刺激を受け、ZOOMやYouTubeでできることを学んだ。またコミュニケーションツールとしてのSNS活用にも挑戦した。



発表する岡田主事

【デジタルの風】

- ① ゴープロでの撮影に挑戦
- ② オンライン講座
- ③ 高齢者のデジタル体験

○成果

- ・オンライン講座実施のためのデジタル環境の整え方、準備、参加者等への配慮等が分かった。
- ・二次元バーコードの活用で若い世代の申し込みが増えた。

○これからやってみたいこと

- ・他の公民館とつながること。
- ・何かデジタルでできないか工夫すること。

滑川市早月加積地区公民館 指導員 村上 和氏による「デジタルへの挑戦」の発表

○スキルアップ講座を通して挑戦したこと

モデル事業をきっかけとして、これまで取り入れてこなかったデジタルツール導入に挑戦した。



発表する村上指導員

【デジタルへの挑戦】

- ① YouTube 配信
- ② ZOOM の活用
- ③ Canva の活用

○成果

- ・地域の伝統行事を動画で公開することで、伝統の継承が進み、広く知らない人たちにもその魅力が伝えられた。
- ・説明が多いチラシから、Canvaを活用し、写真や二次元バーコードを取り入れるなど、見た目を改善したことで、申し込みが増え、講座に活気が生まれた。

○これからやってみたいこと

- ・チラシや広報紙への動画掲載

～人と人とのつながりを深める公民館活動の推進～

令和6年度主事・指導員等研修会

県公民館主事・指導員等研修会は、2月14日(金)に、103名が参加して富山県教育文化会館集會室で開催された。

研修1では、富山県公民館連合会 会長 中西彰が、能登半島地震からの復旧・復興に向けて開催された「能登地区公民館フォーラム2024」の内容を報告した。

【報告要旨】

1 はじめに

- ①能登半島地震の発生
- ②東海北陸公民館大会石川大会中止
- ③能登地区公民館フォーラムへの機運
- ④フォーラムの開催

・令和6年11月28日(木) のとふれあい文化センター (穴水町)

2 被災地視察と当日会場

一部再生の白米千枚田や傾いたままのビル、輪島朝市地区の火災跡等を写真で紹介

3 能登地区公民館フォーラム

- ①能登地区3市3町のミニスピーチ (動画)
- ②東日本大震災経験談
 - ・「コミュニティの復活と公民館活動の再開」
岩手県大槻町 佐々木 健氏
 - ・「九死に一生～避難所運営～物資受入」
宮城県南三陸町 佐々木 仁氏
- ③質疑応答とまとめの話 (動画)

4 おわりに

- ①石川県公連より
 - ・事務局長 森田 勝氏のお話
- ②今後に向けて
 - ・防災をテーマに研修や訓練を計画する場合の心構え
 - ・全公連発行「月刊公民館2月号」にフォーラムで司会を務めた全公連副会長村松真貴子氏の「能登地区公民館フォーラムに参加して」のエッセイが掲載

研修2では、防災力アップ講座として防災クリエイターJAPAN 代表 防災クリエイターゆうすけ：黒越友輔氏が「地域コミュニティ発！共助的自助防災のすすめ」と題して、講演とワークショップを行った。

【講演要旨】

1 災害を感じる



報告する中西会長と本田事務局長



講演する黒越氏

会場を災害現場に変える

- ① 地震発生
 - ・福島県防災 VR「地震・津波編」
 - ・防災教育 VR ビーバー (小学生向け)
 - ・バーチャルリアリティーで震災体験ができる。
- ② 非常持ち出し品を準備せよ
 - ・避難所に持っていきたいものを10個考える。

2 防災カードゲーム「防災ライジング」

参加者が5、6人ずつ16グループに分かれ、災害シミュレーションカードゲームに取り組んだ。



ゲームの説明をする黒越氏

- ① 災害は、いつ、どこで、どんな状況で起こるかわからない
 - ・季節・カレンダー・天気・時間のカテゴリーから状況をランダムに想定する。
 - ア 冬・平日・雪・昼
 - イ 夏・休日・晴れ・夜
- ② 災害に発生する問題・課題は様々
 - ・屋内・道中・避難所の各シーンで起こる問題・課題に、自分ならA・Bどちらの行動をとるかを選択する。
- ③ ディスカッションで防災意識を高め合う
 - ・自分の意見も主張しつつ、他の人の意見を聞くことで、新たな発見や気づきを得る。
 - ・みんなの意見を知ることによって防災力アップ！

3 備えについて

- ① 備えの基準
 - ア 無いと困るもの (日常)
 - イ 我慢で解決できないもの
 - ・トイレ、メガネ、杖、スマホ等
- ② 紙切れに最大の価値を見出す
 - ・家族などの大事な人の携帯電話番号を紙に書いて財布等に入れておく。



真剣に考える参加者

4 おわりに

防災の最大の対策は、防災意識を持つことである。この防災意識は、災害について考えることによって育まれる。

※富山県公民館連合会のホームページで、報告・講演の動画を配信していますのでご覧ください。【QRコード】



地域の皆さんと、 つどい・学び・むすぶ

高岡市立川原公民館
(川原地域交流センター)

川原地区は、前田利長公が約四百年前に高岡を開町した以降、千保川を利活用した物流拠点の地として栄えた商人、町民の町でしたが、昨年、校下小学校が統廃合されるなど、少子高齢化が著しく進んでいます。

このような状況の中、地域の皆さんが「つどい」「学び」「むすぶ」場として利用いただくため、多くのサークル活動と生涯学習講座などの事業を実施



ます寿司づくり

施しています。

生涯学習講座では、先進地を視察して様々な歴史や文化に触れる現地学習や食文化を体験する味噌づくり、和菓子づくり、ます寿司にかぶら寿司づくり等の教室を開催し、大変好評を得ています。

また、歳時記に合わせた水引き教室やしめ縄作り教室、干支や達磨の土人形絵付け教室等を開催し、季節の文化を感じられる教室も開催しています。

更に、サークル等の生涯学習の成果を発表するとともに、多くの住民が一堂に集い、交流を深める場として、地域の各種団体の協力を得て、9月に「川原公民館まつり」を実施し、住民の皆様に感動と心への刺激を感じていただいています。

昨年4月より「川原公民館」と「川原地域交流センター」の二刀流の施設運営がスタートし、公民館としての利用の仕方の他に、物販や塾など営利を目的とする活動にも利用いただけるようになりました。今後も気持ち良く利用いただけますよう、スタッフ一同笑顔でお待ちしております。

わが町の公民館活動

富山市立大沢野公民館

公民館活動で地区の活性化と 健康づくり

大沢野地区は、「ぶり・ノーベル街道」の愛称で知られる流通の要である国道41号が縦貫し、神通川と船峯台地に囲まれた4,796世帯、10,709人（令和6年12月末現在）の富山市中南部に位置するエリアです。神通峡や猿倉山など、周囲には自然を活かした美しい景観が広がり、四季の移ろいを日々身近に感じることができます。

当館は令和5年4月竣工の大沢野会館に併設・利用提供を開始し、新たな一步を踏み出しました。

地区のふるさとづくりでは、体育協会の指導の



明るい会場に集う「ものもの市」

下、初めて参加する方も性別や年齢に制限なく楽しめるニュースポーツで、地区住民の親睦を図っています。冷暖房完備のホールで快適に、夏季はカローリング大会、冬季にはペタンク大会を開催し、子どもから高齢の方まで一つのチームで協力し、笑顔あふれる時間を楽しんでいます。

また、平成22年「富山市ふるさと活性化事業」で立ち上げた「ものもの市」を現在も継続中です。住民が各家庭の不用品を持ち寄り、今度はその中から気に入ったものを無料で持ち帰る物々交換、サステイナブルな活動です。同時にそこに集まる人同士が交流を深める場ともなっています。

その他の事業もスポーツ系、文化系を問わず、まず公民館を訪れ、事業に参加、親睦を深めることで各々の心身の健康につながります。他団体の事業も含め「一人が事業参加の機会を一回増やすと、地区全体の健康が向上する」ことは、大沢野地区健康づくり推進会議でも指針とされています。

今後も地区の活性化と住民の健康への関心、親睦を深める活動を進めていきたいと考えています。

顔を合わせ 声をかけあう地域づくり

立山町立千垣公民館

立山山岳地帯のふもと、標高548mに位置する立山町千垣地区。常願寺川の清流と豊かな自然あふれる山々に囲まれた県道沿いの地域に、58世帯103名が暮らしています。

地区内のほとんどが高齢者世帯となった千垣地区では、かつてのような若者中心の行事は難しく、年々形を変え、高齢者でも参加しやすい工夫を凝らして続けています。

中でも、地区の長寿会を中心とした「ラジオ体操とウォーキング」事業は、今年で12年目とな



「ラジオ体操とウォーキング」事業

り、昨年はラジオ体操優良団体等表彰で長期継続実践の表彰を受けています。雨天と日曜日以外の毎日、4月から11月半ばまで、毎朝6時半に寺の境内に集まり、元気にラジオ体操。その後、地区内をぐるりと一周、およそ1kmのウォーキングを日課としています。

かつては、傾斜のきついこの地区でも、農作がさかんに行われ、地区の方の足腰を鍛えていました。高齢化と獣被害で、年々農作人口が減少し、地区内の運動不足が懸念される中で、この体力づくり事業が一役買っているのです。

朝一番に顔を合わせ、安否確認ができることで地域の見守り活動の一面も担っています。

また、近年の異常気象による災害対策も地区の深刻な課題であり、地区の避難訓練や高齢者世帯の避難方法の把握、声かけの担当者を配置するなど、細やかな支援策を練っています。時代や現状に合わせた、柔軟な対応を心掛け、今後も行政と連携を密に、少数ながらもたくましい地区を存続していきたいと思っています。

わが町の公民館活動

南砺市利賀地域づくり協議会
(利賀交流センター)

賑わいづくりで 地域再生プロジェクト

利賀地域は南砺市の南部に位置し、岐阜県境に連なる山々に源を発した庄川の急流河川が北流するなど、豊かな自然に恵まれた環境の中で、176世帯、440人(令和6年12月末現在)が暮らしています。

活動内容は、様々な生涯学習事業や交流事業、年6回の交流センターだよりの発行等を行っています。今年度は、親子等を対象に「食文化体験交流会」を3回開催しました。昔からの伝統ある郷土料理体験を親から子供へ継承することが目的で、五平餅づくり・おやきづくり・こおり餅づくり等を体験しました。特に、こおり餅は昔からの子供のおやつであり、大人のお茶菓子として主に冬の間に食べられており、子供たちは、餅を切る作業・ひもで結び吊るす作業等を手際よく行いました。他には「寄せ植え教室」の開催や利賀地域児童生徒育成会と連携して「講演会」、冬には各地区でろうソクで明かりを灯す「キャンドルロード」を行っています。また、地域の団体やボランティア活動を紹介するため、義務教育学校利賀学舎の学習発表会「金剛祭」と「村民憩いの日」を

同時開催し紹介しています。

今年からは、交流事業として、能登島地域づくり協議会との姉妹交流が始まり、夏は利賀の子供たちが能登へ海水浴に行き、冬は能登島の子供たちが利賀に来て思いっきり雪遊びをする等の企画を予定しています。また、「森のようちえん」の先例地である長野県伊那市・飯田市等へ視察を行い、利賀地域においても、森のようちえんプロジェクトが始まります。

今後も「利賀交流センター」が地域の交流の場として、親しみながら子供から高齢者が活動できる場「集いの場」となるよう取り組んでいきたいと考えております。



こおり餅づくり体験

令和7年度 富山県公民館連合会事業予定

令和7年度の事業予定案をお知らせいたします。

	事業	実施期日・概要
大会・研修会	1 第19回定期評議員会 (県教育文化会館)	5月14日(水) 15:30～ ○ 事業及び収支決算報告の承認 ○ 事業計画案及び収支予算案の議決 その他
	2 第19回富山県公民館大会 (県教育文化会館)	9月11日(水) 13:30～ ○ 開会式典・表彰(全公連・県公民館大会) ○ 記念講演 ○ 令和6年度研究委嘱公民館の発表(1館)
	3 公民館初任者研修会 (県教育文化会館)	6月12日(水) 13:30～ ○ 講演:今日の課題と公民館の役割、公民館職員としての心構えについて ○ 令和6年度研究委嘱公民館の発表(2館)
	4 公民館館長研修会 (新川文化ホール)	11月6日(水) 13:30～ ○ 講演:地域住民の絆を深め、安心・安全な地域社会づくりを進める公民館の運営について(仮) ○ 令和6年度研究委嘱公民館の発表(2館)
	5 公民館主事・指導員等研修	① 主事・指導員等現地研修会 10月9日(水) 1日研修(場所:県西部地区、参加者:県東部地区) ② 主事・指導員等研修会 令和8年2月20日(金) 13:20～ ○ 公民館事業の進め方、主事・指導員の役割等について
	6 先進事例を学ぶ研修会 (県教育文化会館)	12月11日(水) 13:30～ ○ 県委託事業モデル公民館の館長、主事・指導員及び希望者 ○ 公民館活動の今日的課題について県外先進事例の講演会や研究討議
委嘱・助成事業	7 公民館活動研究委嘱事業	4月～令和8年3月 ○ 黒部市、上市町、富山市、高岡市、小矢部市に委嘱(各1館) ・地域の特性を生かした課題を設定し、研究委員会を中心に研究推進、実践活動
	8 県公民館地域づくり研修会 (市・郡公民館関係者研修会等)助成事業	4月～令和8年3月 ○ 各市・郡ごとに主催開催(隣接市・郡との合同開催も可) ・講演会・実践発表・公民館大会・社会教育(生涯学習)大会・先進地等現地研修等
広報	9 県公連会報の発行	4月～令和8年3月 ○ 年3回(7月、12月、3月)発行。(353号～355号) ・主催事業の報告・各地の公民館の実践紹介等
その他	10 県事業等	☆県→県公連委託 ・「公民館 de つながるモデル事業」
	11 大会等への参加	11月12日(水)・13日(木) 第47回全国公民館研究集会(東京国際フォーラム) 令和8年1月 全国公民館セミナー

第47回全国公民館研究集会 東京大会に多数の参加を!

令和7年度の東海北陸公民館大会は開催されず、全国公民館研究集会が東京で開催されます。開催概要は以下の通りです。皆さんの参加をお待ちしています。全国の皆さんとの交流と研修を深めましょう。

1 期日

令和7年11月12日(水) 13:00～17:00

式典、基調講演、シンポジウム

11月13日(木) 9:00～12:30

座談会・ムービー・対談

2 会場 東京国際フォーラム

(JR 有楽町駅徒歩1分)

3 主なプログラム

- ・基調講演「地域のミライをひらく公民館」
山崎 亮氏(コミュニティ・デザイナー)
- ・シンポジウム「みんなで描く公民館のミライ」
パネラー:那覇市若狭公民館館長 宮城 潤氏 等
- ・ムービー「若者が地域のミライを開く」



おめでとうございます! 各種受賞公民館を紹介します

- ◇「令和7年度社会教育功労者表彰」(文部科学大臣表彰)・魚津市上野方コミュニティセンター
センター長 馬場 均
- ◇「第77回優良公民館表彰」(文部科学大臣表彰)・高岡市立福岡公民館【優秀館】
・朝日町立笹川公民館